

資料 1

試料調製明細書

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ
を記入して下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

- | |
|---|
| 作物名：水なす（穂木：絹皮水、台木トナシム） |
| 播種：穂木2018年7月6日、台木6月26日、定植：9月11日 |
| 栽植密度：畝間180cm、株間50cm、1条植3本仕立、約1110株/10a 加温栽培、マルチ栽培 |
| 施肥（10aあたり）：9月3日 キヨミ有機（堆肥） 2000kg、 |
| 9月5日 旬鮮野菜006DX(10-10-6) 200kg、過燐酸石灰(0-17.5-0) 57kg、マルチサポート1号 80kg |
| 10月19日、31日、11月14日、12月3日 くみあい尿素複合液肥1号(12-5-7) 25kg |
| 収穫期間（適期）：11月下旬～ |

8. 生育ステージ

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙 1 に記載。

10. 試験区

(1) 試験区の面積および本（株）数

千阿区 (A区): $108.0\text{m}^2 (1.8\text{m} \times 20.0\text{m} \times 3\text{畝})$ 120株
山形系梵天丸区 (B区): $144.0\text{m}^2 (1.8\text{m} \times 20.0\text{m} \times 4\text{畝})$ 160株
絹皮水区 (C区): $108.0\text{m}^2 (1.8\text{m} \times 20.0\text{m} \times 3\text{畝})$ 120株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

ガラスハウス：面積855.0㎡・容積2778.8㎡・高さ4.5m

收穫期間（適期）：11月中旬～

作物名：丸なす（穂木：山形系梵天丸、台木：トルバムビガー）

播種：穗木2018年7月6日、台木6月24日、定植：9月11日

栽植密度：畝間180cm、株間50cm、1条植3本仕立、約1110株/10a 加温栽培、マルチ栽培

施肥（10aあたり）：9月3日 キヨミ有機（堆肥） 2000kg、

9月5日 旬鮮野菜006DX(10-10-6) 240kg、硫酸加里(0-0-50) 11kg、マルチサポート1号 80kg

10月19日、31日、11月14日、12月3日 くみあい尿素複合液肥1号(12-5-7) 25kg

收穫期間（適期）：11月中旬～

(2018 作物群 なす)

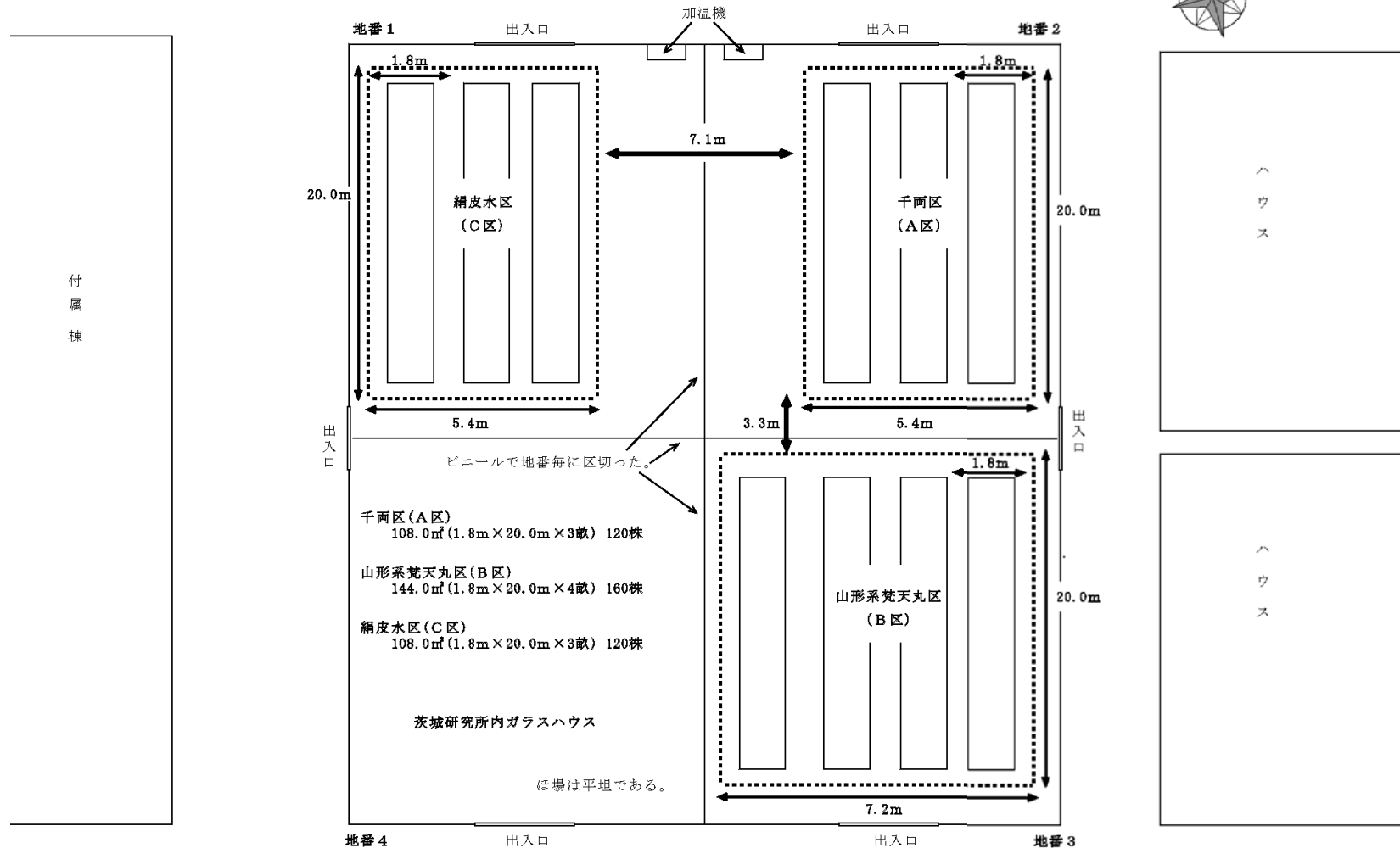
試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としてもかまいません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹 1 樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



- 23 -

- 23 -- 23 -

- 23 -

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

1 2 . 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式) に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	千両区 (A 区) 試料番号	山形系梵天丸区 (B 区) 試料番号	緋皮水区 (C 区) 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1 1 月 2 2 日	SEN-I-C (無処理)	YAM-I-C (無処理)	KIN-I-C (無処理)	A 区 8:50 ~ 9:02 時刻 : B 区 8:50 ~ 9:15 天候 : 曇り C 区 8:50 ~ 9:10	—	SEN-I-C 2.2kg YAM-I-C 2.2kg KIN-I-C 2.2kg	1 1 月 2 2 日
1 2 月 7 日	SEN-I-0 SEN-I-0S SEN-I-0L	YAM-I-0 YAM-I-0S YAM-I-0L	KIN-I-0 KIN-I-0S KIN-I-0L	A 区 15:45 ~ 16:10 時刻 : B 区 15:45 ~ 16:15 天候 : 曇り C 区 15:45 ~ 16:15	—	SEN-I-0:2.5kg 0S:0.4kg 0L:0.6kg YAM-I-0:2.1kg 0S:0.2kg 0L:0.7kg KIN-I-0:2.5kg 0S:0.7kg 0L:1.2kg	1 2 月 7 日
1 2 月 8 日	SEN-I-1 SEN-I-1S SEN-I-1L	YAM-I-1 YAM-I-1S YAM-I-1L	KIN-I-1 KIN-I-1S KIN-I-1L	A 区 8:05 ~ 8:15 時刻 : B 区 8:05 ~ 8:19 天候 : 曇り C 区 8:05 ~ 8:25	—	SEN-I-1:2.5kg 1S:0.4kg 1L:0.7kg YAM-I-1:2.1kg 1S:0.5kg 1L:0.6kg KIN-I-1:2.7kg 1S:0.8kg 1L:1.2kg	1 2 月 8 日
1 2 月 1 0 日	SEN-I-3	YAM-I-3	KIN-I-3	A 区 9:05 ~ 9:22 時刻 : B 区 9:05 ~ 9:21 天候 : 曇り C 区 9:05 ~ 9:25	—	SEN-I-3:2.4kg YAM-I-3:2.1kg KIN-I-3:2.6kg	1 2 月 1 0 日
1 2 月 1 4 日	SEN-I-7 SEN-I-7S SEN-I-7L	YAM-I-7 YAM-I-7S YAM-I-7L	KIN-I-7 KIN-I-7S KIN-I-7L	A 区 9:10 ~ 9:40 時刻 : B 区 9:10 ~ 9:44 天候 : 晴れ C 区 9:10 ~ 9:45	—	SEN-I-7:2.6kg 7S:0.4kg 7L:0.7kg YAM-I-7:2.1kg 7S:0.6kg 7L:0.7kg KIN-I-7:3.2kg 7S:1.3kg 7L:1.5kg	1 2 月 1 4 日
1 2 月 2 1 日	SEN-I-14	YAM-I-14	KIN-I-14	A 区 9:08 ~ 9:25 時刻 : B 区 9:08 ~ 9:26 天候 : 晴れ C 区 9:08 ~ 9:35	—	SEN-I-14:2.6kg YAM-I-14:2.1kg KIN-I-14:3.3kg	1 2 月 2 1 日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に O を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1 1 月 2 2 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) ☒ 適量 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) ☒ 適量 やや遅熟) 3. その他 () 4. 原因
1 2 月 7 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) ☒ 適量 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) ☒ 適量 やや遅熟) 3. その他 () 4. 原因
1 2 月 8 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) ☒ 適量 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) ☒ 適量 やや遅熟) 3. その他 () 4. 原因
1 2 月 1 0 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) ☒ 適量 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) ☒ 適量 やや遅熟) 3. その他 () 4. 原因
1 2 月 1 4 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) ☒ 適量 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) ☒ 適量 やや遅熟) 3. その他 () 4. 原因
1 2 月 2 1 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) ☒ 適量 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) ☒ 適量 やや遅熟) 3. その他 () 4. 原因

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

(1) 試料採取方法	使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、 採取後乾燥等のための輸送方法を記載。

各区、試験区の境界部の株をはずし偏りがないよう、試験区全体からハサミを用いて採取した。	
(2) 採取後の調製・梱包方法	試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、 脱粒：脱すじ等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載。

採取した試料は、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた (試験区ラベル使用)。梱包は行わなかった。	
(3) 試料送付先	分析機関：一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所
(4) 試料の輸送方法	到着日指定、温度指定、 輸送会社等

試料をかごに入れた状態で、分析担当者に手渡した。	
(5) 備考	試料採取及び調製時は、清浄な手袋を装着し、手袋は試験区毎に交換した。

灌水の記録 試験期間中の灌水は 3 区とも11月22日、25日、28日、12月1日、3日、5日、8日、10日、11日、13日、14日、18日、20日に行った。	

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所： 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所 ガラスハウス

観測条件： 気温：平均気温 (1 時間毎)

(2018年)

○：薬剤処理日 △：試料採取日

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1 1	気温(施設内温度)																						15.0	17.5	16.2	18.2	18.1	17.1	19.3	17.8	18.0	
	薬剤処理/試料採取																						△	○							○	
	区記号(試料番号)																					無処理区	A, B, C								A, B, C	
1 2	気温(施設内温度)	17.9	16.7	17.7	20.2	18.8	13.6	15.3	15.8	17.4	17.2	15.7	15.4	16.2	17.2	18.2	15.6	16.3	18.1	18.1	17.6	17.7										
	薬剤処理/試料採取							○△	△		△				△							△										
	区記号(試料番号)							A, B, C	A, B, C		A, B, C				A, B, C							A, B, C										

観測機器：気温：T and D社製 おんどとり TR-71Ui (気温は1:00~翌日0:00までの1時間毎の記録値より平均を求めた)

(2018 作物群 なす)

別紙 1

6. 過去 1 年間に作付けた作物および使用した農薬

ガラスハウス 1 網皮水区(C区)

きゅうり	2017年11月8, 9, 10日, 12月3日	ダコニール1000	33倍, 10L/10a 常温煙霧
	11月13日	スミレックス水和剤	1500倍散布
	11月24, 25, 26日, 12月7日	ランマンフロアブル	1500倍散布
		アドマイヤー水和剤	50倍, 5L/10a 常温煙霧
すいか	2018年4月25日	アクタラ粒剤5	2g/株 定植時植穴処理
	5月10日	ウララDF	2000倍散布
		ベルクート水和剤	1000倍散布
	5月21, 28日, 6月4, 11, 18, 25日	S-2190 40SC	3000倍散布
	6月4, 11, 18日	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍散布
		AKD-5196SC	1000倍散布
	6月7日	ウララDF	2000倍散布
		モレスタン水和剤	3000倍散布
	6月12, 19日	KII-9396水和剤	1000倍散布
	6月22日	ウララDF	2000倍散布
		アフアーム乳剤	1000倍散布
		マイトコーネフロアブル	1000倍散布

ガラスハウス 2 千両区(A区)

きゅうり	2017年11月8, 9, 10日, 12月3日	ダコニール1000	33倍, 10L/10a 常温煙霧
	11月13日	スミレックス水和剤	1500倍散布
	11月24, 25, 26日, 12月7日	ランマンフロアブル	1500倍散布
		アドマイヤー水和剤	50倍, 5L/10a 常温煙霧
結球レタス	2018年1月30日	セイビアーフロアブル20	1000倍散布
	2月21日	ベルクート水和剤	1000倍散布
		ウララDF	2000倍散布
	3月9日	アミスター20フロアブル	2000倍散布
	3月12, 19, 26日	MIF-1002フロアブル	2000倍散布
	3月15, 22日	シグナムWDG	1500倍散布
	3月19, 26日, 4月2日	ケンジャフロアブル	1500倍散布
リーフレタス	2018年1月30日	セイビアーフロアブル20	1000倍散布
	2月13, 19, 26日, 3月5日	ダントツ粒剤	3kg/10a 生育株元処理
		ダントツ水溶剤	2000倍散布
	3月5, 12日	パレード20フロアブル	2000倍散布
		DKF-2611SE	4000倍散布
	3月7日	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍散布

ガラスハウス 3 山形系統天丸区(B区)

きゅうり	2017年11月8, 9, 10日, 12月3日	ダコニール1000	33倍, 10L/10a 常温煙霧
	11月13日	スミレックス水和剤	1500倍散布
	11月24, 25, 26日, 12月7日	ランマンフロアブル	1500倍散布
		アドマイヤー水和剤	50倍, 5L/10a 常温煙霧
リーフレタス	2018年1月30日	セイビアーフロアブル20	1000倍散布
	2月13, 19, 26日, 3月5日	ダントツ粒剤	3kg/10a 生育株元処理
		ダントツ水溶剤	2000倍散布
	3月5, 12日	パレード20フロアブル	2000倍散布
		DKF-2611SE	4000倍散布
	3月7日	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍散布

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

なす (試験作物)	種子消毒	キャプタン(千両, A区)	} R U (育苗期)
	種子消毒	チウラム (山形系統天丸, B区)	
各区分通	種子消毒	キャプタン(網皮水, C区)	} R U (育苗期)
各区分通	2018年7月20日	スタークル顆粒水溶剤	} 20kg/10a 全面土壌混和 2000倍散布(育苗期) 2000倍散布(育苗期) 2500倍散布 4000倍散布 2000倍散布 2000倍散布 2000倍散布 4000倍散布 1000倍散布 5000倍散布 500mL/10a放飼 500mL/10a放飼 2000倍散布 4000倍散布 2000倍散布 2000倍散布 1000倍散布 3000倍散布 2000倍散布
	7月24日	アフアーム乳剤	
	7月31日	バリアード顆粒水和剤	
	8月14日	モスピラン顆粒水溶剤	
	8月20日	スピノエース顆粒水和剤	
	9月5日	ネマトリシエース粒剤	
	9月9日	アフアーム乳剤	
		ウララDF	
	9月19日	ディアナSC	
		コルト顆粒水和剤	
		ベルクートフロアブル	
	9月25日	アフアーム乳剤	
		モベントフロアブル	
	10月4日	モスピラン顆粒水溶剤	
		ブレオフロアブル	
	10月11日	ガッテン乳剤	
	10月12日	スワルスキー	
	10月16日	タイリク	
	10月19日	フェニックス顆粒水和剤	
	10月29日	ラーイ水和剤	
		フルピカフロアブル	
11月8日		ウララDF	2000倍散布
		ブレオフロアブル	
		プロパティフロアブル	3000倍散布
		フェニックス顆粒水和剤	

(2018 作物群 なす)

別紙2-1 中長なす(品種:千両)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所



写真1. 第1回散布時の様子



写真4. 第2回散布時の様子



写真7. 第3回散布時の様子



写真2. 第1回散布時の草丈



写真5. 第2回散布時の草丈



写真8. 第3回散布時の草丈



写真3. 第1回散布時の繁茂状況



写真6. 第2回散布時の繁茂状況



写真9. 第3回散布時の繁茂状況

(2018 作物群 なす)

別紙 2 - 1 中長なす (品種 : 千両)



写真10. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況①



写真11. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況②



写真12. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況③



写真13. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況①



写真14. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況②



写真15. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況③

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

(2018 作物 ナス)

別紙 2 - 2 丸なす (品種 : 山形系梵天丸)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所



写真1. 第1回散布時の様子



写真4. 第2回散布時の様子



写真7. 第3回散布時の様子



写真2. 第1回散布時の草丈



写真5. 第2回散布時の草丈



写真8. 第3回散布時の草丈



写真3. 第1回散布時の繁茂状況



写真6. 第2回散布時の繁茂状況



写真9. 第3回散布時の繁茂状況

(2018 作物群 なす)

別紙2-2 丸なす (品種: 山形系梵天丸)



写真10. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況①



写真11. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況②



写真12. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況③



写真13. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況①



写真14. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況②



写真15. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況③

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

(2018 作物誌 なす)

別紙 2 - 3 水なす (品種 : 絹皮水)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所



写真1. 第1回散布時の様子



写真4. 第2回散布時の様子



写真7. 第3回散布時の様子



写真2. 第1回散布時の草丈



写真5. 第2回散布時の草丈



写真8. 第3回散布時の草丈



写真3. 第1回散布時の繁茂状況



写真6. 第2回散布時の繁茂状況



写真9. 第3回散布時の繁茂状況

(2018 作物群 なす)

別紙2-3 水なす (品種: 絹皮水)



写真10. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況①



写真11. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況②



写真12. 最終散布直後試料採取時の繁茂状況③



写真13. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況①



写真14. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況②



写真15. 最終散布14日後試料採取時の繁茂状況③

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

2018年度 農薬物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 2018年 11月 ～ 2018年 12月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型 ①アドマイヤー顆粒水和剤(イダクロプリト) ②スロビーフロアブル(クロキシメチル) ③レボリューション(エトフェンプロックス)

(2) 有効成分名及び成分含有率 ①イダクロプリト 50% ②クロキシメチル 44.2% ③エトフェンプロックス 20%

(3) 被験物質の Lot No. ①21.10 T8A02 ②21.10 HHA005 ③21.10 S8Y02

2. 農作物名 中長なす、小なす、米なす 品種名 中長なす:千両、小なす:十市小なす、米なす:くろわし

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町築刈

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤寛、谷山頼清、高芝和明、有波有紀、浜田拓也

5. 土性 砂土・砂壤土・**壤土**・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水採 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別添資料

7. 栽培概要 **【播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被験資材(薬は薬名、登録番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の茶名、砂・トンネル栽培の被覆時期を記載する】**

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

作物名:中長なす

播種日:2018年7月10日、定植日:2018年9月5日、畝幅:180cm、株間:50cm、1条植主枝3本立て

約1,100株/10a、施肥:2018年8/2 ケントップ 1500kg/10a、8/30 果菜 684(6・8・4) 417kg/10a 加温栽培

収穫期間(適期):2018年11月上旬～

作物名:小なす

播種日:2018年7月10日、定植日:2018年9月5日、畝幅:180cm、株間:65cm、1条植主枝4本立て

約850株/10a、施肥:平成30年8/2 ケントップ 1500kg/10a、8/30 苦土石灰 100kg/10a、

果菜 684(6・8・4) 217kg/10a 加温栽培

収穫期間(適期):2018年11月上旬～

作物名:米なす

播種日:2018年7月10日、定植日:2018年9月5日、畝幅:180cm、株間:80cm、1条植主枝4本立て

約700株/10a、施肥:2018年8/2 ケントップ 1500kg/10a、8/30 果菜(6・8・4) 417kg/10a 加温栽培

収穫期間(適期):2018年11月上旬～

8. 生育ステージ —

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別添資料

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区D(中長なす):70.2㎡、78株、処理区E(小なす):140.4㎡、120株

処理区F(米なす):64.8㎡、45株、

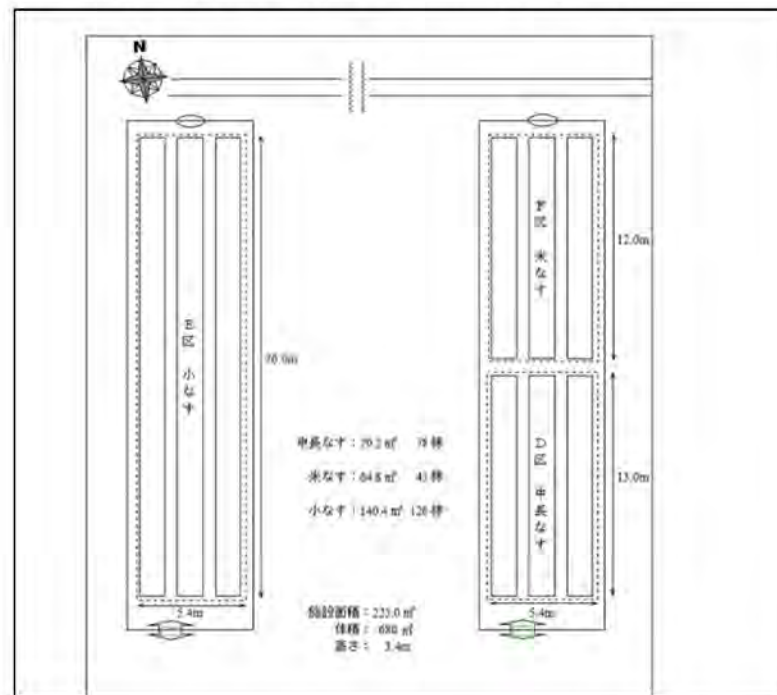
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 処理区D、E、F:面積225.0㎡、容積680㎡、高さ3.4m

(3) 試験区の配置図 **【試験区全体および圃場の農地の状況がわかるように記入してください。記入できない場合は別紙としても構いません。】**

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を□で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区の間隔を記入して下さい。

ウ) 圃場の取方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

11. 処理方法 (下の A～G 欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記入する)

区 分 処理月日	D 区 (中長なす)	E 区 (小なす)	F 区 (米なす)	G 区	処理濃度	処 理 量		処 理 時 の 生育ステージ	処理方法(概略)
						10a 当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
11月 19日	②、③			無処理区	②3000 倍、③1000 倍	280L	②6.57mL ③19.7mL / 19.7L / 70.2 m ²	収穫期	散布
		②、③				280L	②13.1mL ③39.3mL / 39.3L / 140.4 m ²		
			②、③			280L	②6.03mL ③18.1mL / 18.1L / 64.8 m ²		
11月 26日	①、②、③				①5000 倍、②3000 倍、③1000 倍	280L	①3.94mL ②6.57mL ③19.7mL / 19.7L / 70.2 m ²	収穫期	散布
		①、②、③				280L	①7.86 mL ②13.1mL ③39.3mL / 39.3L / 140.4 m ²		
			①、②、③			280L	①3.62mL ②6.03mL ③18.1mL / 18.1L / 64.8 m ²		
12月 3日	①、②、③				①5000 倍、②3000 倍、③1000 倍	280L	①3.94mL ②6.57mL ③19.7mL / 19.7L / 70.2 m ²	収穫期	散布
		①、②、③				280L	①7.86 mL ②13.1mL ③39.3mL / 39.3L / 140.4 m ²		
			①、②、③			280L	①3.62mL ② 6.03mL ③18.1mL / 18.1L / 64.8 m ²		
月 日									
月 日	散布日ごとに混合液を作成				①アトマイヤー顆粒水和剤				
月 日					②スロビーフロアブル				
月 日					③ノボリン乳剤				

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	〔 処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌湿和の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温、液比等 〕	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
			D区:処理開始時刻 ;	E区:処理開始時刻 ;	F区:処理開始時刻 ;	
11月 19日	背負式動力噴霧機 (丸山製作所 MSB1500Li, 動力源: バッテリー) に キャカコンノズル 1 頭口を装着し均一に散布した。		D区:処理開始時刻 ; 14:35	E区:処理開始時刻 ; 14:10	F区:処理開始時刻 ; 14:10	処理時の天候 : 曇 当日の天候 : 雨のち曇 風の影響はなし
11月 26日			D区:処理開始時刻 ; 14:30	E区:処理開始時刻 ; 14:05	F区:処理開始時刻 ; 14:05	処理時の天候 : 曇 当日の天候 : 曇 風の影響はなし
12月 3日			D区:処理開始時刻 ; 10:25	E区:処理開始時刻 ; 10:00	F区:処理開始時刻 ; 10:00	処理時の天候 : 雨 当日の天候 : 雨のち曇 風の影響はなし
月 日						
月 日						
月 日						

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 — 展着剤名 — 濃度または量 —

(2) 備 考 —

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

採取月日	区 分	D 区(中長なす)	E 区(小なす)	F 区(米なす)	G 区 (無処理区)			試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
		試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号			
11月 15日					SEN-K-C SEN-K-CS SEN-K-CL (中長なす)	TOO-K-C TOO-K-CS TOO-K-CL (小なす)	KUR-K-C KUR-K-CS KUR-K-CL (米なす)	9:50 ~ 11:55 晴れ	F → D → E SEN-K-C : 2.2kg、S : 0.7kg、L : 1.2kg TOO-K-C : 2.2kg、S : 0.3kg、L : 0.5kg KUR-K-C : 3.0kg、S : 1.4kg、L : 1.9kg	11月 15日
12月 3日		SEN-K-0 SEN-K-0S SEN-K-0L	TOO-K-0 TOO-K-0S TOO-K-0L	KUR-K-0 KUR-K-0S KUR-K-0L				D 区: 16:10 ~ 16:30 雨 E 区: 15:40 ~ 16:00 雨 F 区: 16:15 ~ 16:30 雨	E → D → F SEN-K-0 : 2.2kg、S : 0.5kg、L : 0.9kg TOO-K-0 : 2.1kg、S : 0.2kg、L : 0.5kg KUR-K-0 : 2.4kg、S : 1.1kg、L : 1.8kg	12月 3日
12月 4日		SEN-K-1 SEN-K-1S SEN-K-1L	TOO-K-1 TOO-K-1S TOO-K-1L	KUR-K-1 KUR-K-1S KUR-K-1L				D 区: 9:05 ~ 9:25 曇 E 区: 7:15 ~ 8:00 曇 F 区: 8:40 ~ 8:55 曇	E → F → D SEN-K-1 : 2.3kg、S : 0.7kg、L : 1.1kg TOO-K-1 : 2.2kg、S : 0.6kg、L : 0.9kg KUR-K-1 : 2.4kg、S : 1.8kg、L : 2.2kg	12月 4日
12月 6日		SEN-K-3	TOO-K-3	KUR-K-3				D 区: 10:20 ~ 10:30 曇 E 区: 9:00 ~ 9:20 曇 F 区: 9:50 ~ 10:00 曇	E → F → D SEN-K-3 : 2.3kg TOO-K-3 : 2.2kg KUR-K-3 : 2.4kg	12月 6日
12月 10日		SEN-K-7 SEN-K-7S SEN-K-7L	TOO-K-7 TOO-K-7S TOO-K-7L	KUR-K-7 KUR-K-7S KUR-K-7L				D 区: 10:10 ~ 10:20 曇 E 区: 7:20 ~ 8:10 曇 F 区: 8:40 ~ 9:00 曇	E → F → D SEN-K-7 : 2.3kg、S : 0.7kg、L : 1.1kg TOO-K-7 : 2.2kg、S : 0.5kg、L : 0.9kg KUR-K-7 : 2.4kg、S : 1.8kg、L : 2.2kg	12月 10日
12月 17日		SEN-K-14	TOO-K-14	KUR-K-14				D 区: 9:40 ~ 9:55 晴 E 区: 8:45 ~ 9:10 晴 F 区: 9:20 ~ 9:30 晴	E → F → D SEN-K-14 : 2.3kg TOO-K-14 : 2.2kg KUR-K-14 : 2.5kg	12月 17日

採取月日	区 分	送 付 試 料 に つ い て (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)			
11月 15日		1. 試料の大きさは(やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにばらつきがある	2. 熟期は(やや早い) <u>通常</u> やや過熟	3. その他()	4. 原因
12月 3日		1. 試料の大きさは(やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにばらつきがある	2. 熟期は(やや早い) <u>通常</u> やや過熟	3. その他()	4. 原因
12月 4日		1. 試料の大きさは(やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにばらつきがある	2. 熟期は(やや早い) <u>通常</u> やや過熟	3. その他()	4. 原因
12月 6日		1. 試料の大きさは(やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにばらつきがある	2. 熟期は(やや早い) <u>通常</u> やや過熟	3. その他()	4. 原因
12月 10日		1. 試料の大きさは(やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにばらつきがある	2. 熟期は(やや早い) <u>通常</u> やや過熟	3. その他()	4. 原因
12月 17日		1. 試料の大きさは(やや大きい) <u>通常</u> やや小さい 大きさにばらつきがある	2. 熟期は(やや早い) <u>通常</u> やや過熟	3. その他()	4. 原因
月 日		1. 試料の大きさは(やや大きい) 通常 やや小さい 大きさにばらつきがある	2. 熟期は(やや早い) 通常 やや過熟	3. その他()	4. 原因

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

(1) 試料採取方法 使用した器具、(標本、採取時の詳細、採取回数等)のための輸送方法を記載

処理区および無処理区の試料は、試験区の境界部をはずし、試験区全体からハサミを用いて採取した。採取後、直ちに採取用のカゴに入れ試験場内の試料調整室まで運んだ。

(2) 採取後の調整・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、固軟、数果、脱酸・脱すり等の方法、調整後の試料調整方法および試料の梱包方法を記載

各試料は未使用のボーカスペーパーを敷いた新しいダンボール箱に並べて入れ、試料全体をボーカスペーパーで包んだ後、試験区ごとに梱包した。

緩衝材としてボーカスペーパーを使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼付した。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

(4) 試料の輸送方法: 到着日指定、温度指定、輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備 考 -

果実の肥大状況

千両なす										十市小なす							米なす											
調査日		10/24	10/26	10/29	10/31	11/2	11/5	11/7	11/9		調査日		10/24	10/26	10/29	10/31	11/2		調査日		10/24	10/26	10/29	10/31	11/2	11/5	11/7	11/9
1	果長	2.7	3.7	5.9	7.9	9.7	13.3	17.5	18.1		1	果長	2.8	4.2	6.3	8.8	10.3		1	果長	3.2	4.6	6.6	8.8	10.3	13.0	15.0	17.3
	果径	1.2	1.5	1.9	2.6	2.9	4.0	4.5	5.3			果径	1.4	2.4	3.4	4.3	4.9			果径	2.5	3.4	4.5	5.5	6.3	7.8	9.1	10.0
2	果長	2.7	3.8	6.0	8.0	9.7	13.1	15.0	18.0		2	果長	2.7	3.6	5.1	6.3	7.5		2	果長	2.6	3.4	5.1	7.3	8.7	12.3	14.7	17.5
	果径	1.5	1.9	2.5	3.0	3.6	4.8	5.5	6.3			果径	1.6	2.0	2.7	3.4	3.9			果径	2.3	2.3	3.6	4.6	5.5	7.2	8.3	9.5
3	果長	2.6	3.7	5.3	7.3	8.6	11.3	13.1	14.8		3	果長	1.8	2.9	4.3	5.9	7.9		3	果長	3.2	4.8	6.9	9.3	11.2	14.4	16.7	18.7
	果径	1.5	1.7	2.4	2.9	3.4	4.3	4.9	5.6			果径	1.4	1.7	2.5	3.4	3.6			果径	2.8	3.3	4.8	6.0	6.7	8.2	9.1	10.0
4	果長	2.7	5.5	7.8	9.9	11.3	13.7	15.2	16.7		4	果長	2.1	3.0	4.5	6.1	7.2		4	果長	3.1	4.4	6.5	8.2	10.0	12.2	14.3	16.5
	果径	1.8	2.4	3.1	3.8	5.2	5.3	5.6	6.3			果径	1.5	2.0	2.6	3.4	4.0			果径	2.4	3.1	4.2	5.2	6.0	7.6	8.5	8.8
5	果長	2.3	3.5	5.7	7.9	9.9	14.0	16.9	19.9		5	果長	2.3	3.1	4.4	5.6	6.3		5	果長	3.1	4.1	6.0	8.0	9.6	12.5	14.1	16.4
	果径	1.4	1.7	2.3	3.0	3.6	4.6	5.4	6.2			果径	1.4	1.8	2.4	3.0	3.1			果径	2.5	3.0	3.6	4.6	5.3	6.3	7.3	7.7
6	果長	2.1	2.8	4.1	5.9	7.6	8.8	13.5	15.9		6	果長	2.3	3.3	4.6	6.8	8.3		6	果長	2.8	4.1	6.1	8.3	10.1	13.6	16.7	18.0
	果径	1.4	1.8	2.1	2.6	3.4	3.7	5.0	5.7			果径	1.3	2.0	2.7	3.5	4.0			果径	2.4	2.7	3.9	4.9	5.8	7.3	8.4	9.0
7	果長	2.2	3.5	5.1	7.2	8.7	11.6	14.0	16.2		7	果長	2.3	3.5	5.3	7.1	8.4		7	果長	2.6	3.6	5.4	7.3	8.8	11.6	13.6	15.6
	果径	1.3	1.7	2.1	2.4	2.9	3.8	4.3	5.0			果径	1.5	2.0	2.8	3.8	4.3			果径	2.4	2.8	3.9	4.9	5.5	7.6	7.7	8.9
8	果長	2.5	3.4	5.3	7.0	8.3	11.8	12.7	14.6		8	果長	2.4	3.3	4.8	6.3	7.3		8	果長	3.3	4.5	6.7	8.7	10.5	14.0	15.4	18.3
	果径	1.5	1.5	2.1	2.6	3.0	3.8	4.7	5.3			果径	1.5	2.0	2.9	3.5	3.8			果径	2.6	3.0	4.0	5.7	6.0	7.4	8.5	9.3
9	果長	2.1	2.8	4.1	5.6	7.7	9.6	11.9	14.5		9	果長	2.6	4.0	6.0	8.0	9.3		9	果長	3.1	4.4	6.5	8.4	10.3	13.7	15.1	19.1
	果径	1.2	1.4	1.9	2.1	2.4	3.3	4.0	5.3			果径	1.7	2.3	3.1	4.0	4.4			果径	2.6	3.3	4.7	5.7	6.8	8.3	9.7	9.9
10	果長	2.6	3.9	5.9	7.8	9.8	13.6	16.3	18.9		10	果長	2.2	3.1	4.3	5.7	7.5		10	果長	3.2	4.6	6.6	8.8	10.4	13.8	16.0	19.1
	果径	1.5	1.8	2.6	3.1	3.8	5.1	5.7	6.6			果径	1.5	2.0	2.9	3.3	4.0			果径	2.5	2.9	3.9	4.9	5.5	7.0	8.0	9.5

灌水の記録

果実肥大状況の調査期間中の灌水は3区ともほぼ同量の灌水量で 10/24,26,29,31,11/2,5,7,9 に行った。

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気 象 表

観測地点および試料調製場所： 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

		平均気温 (1 時間毎)						降水量：日界 時																			記号：○：薬剤処理日					
(2018年)		気温：測定時刻 午前 時						△：試料採取日																								
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10	気温(施設内温度)															21.4	19.1	20.5	20.8	20.9	19.4	19.4	19.9	19.1	20.6	20.0	20.2	19.6	17.3	17.3	18.0	18.6
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
11	気温(施設内温度)	17.5	18.2	19.2	18.8	19.9	20.3	20.0	21.2	22.7	19.2	18.7	18.0	19.7	18.3	18.4	17.0	17.8	19.1	17.2	17.4	17.7	16.8	17.2	17.3	17.8	17.0	19.4	17.2	17.2	17.2	
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取															△				○							○					
	区記号(試料番号)																			DEF							DEF					
12	気温(施設内温度)	17.4	17.4	21.3	21.3	19.1	15.8	16.9	17.7	17.3	17.2	16.5	18.0	17.8	17.9	18.0	17.0	18.4														
	降 水 量			○△	△		△				△							△														
	薬剤処理/試料採取			DEF		DEF		DEF				DEF				DEF																
	区記号(試料番号)																															
	気温(施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
	気温(施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
	気温(施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。
また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号(送付カードと同様の番号)を当該欄へ記入する。
施設内気温測定には、データロガー (株式会社 ティアンドデイ おんどり TR-71U) を使用した。

(2018 作物群 なす)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

別紙1

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

D, F E区 (中長なす、米なす)

2017年度: すいか

2017/12/29、2018/2/15 ウララ DF 3000 倍散布、1/25、2/2、15 スミックス水和剤 1000 倍散布

1/25 モレスタン水和剤 3000 倍散布、2/15 アミスター 20フロアブル 2000 倍散布

1/23、30、2/6、13、20、27 S-2190 40SC 3000 倍散布

2018年度: 結球レタス

20018/5/7、14 ピラジフルミド 20S 2000 倍散布、5/15 バリタシン液剤 5 800 倍散布、アフーム乳剤 1000 倍散布

2018年度: なす

2008/8/3 (育苗期) アグリメック 1000 倍散布、ラノー乳剤 2000 倍散布、アカタッチ乳剤 2000 倍散布

8/15 (育苗期) アフーム乳剤 2000 倍散布、コサイド 3000 2000 倍散布、8/22 (育苗期) トリアミン乳剤 2000 倍散布

8/31 (育苗期) プレオフロアブル 1000 倍散布、9/13 フェニックス顆粒水和剤 2000 倍散布

10/3 コロマイ乳剤 1500 倍散布、トルネードフロアブル 2000 倍散布、モレスタン水和剤 2000 倍散布

10/15 コルト顆粒水和剤 4000 倍散布、10/24 アフーム乳剤 2000 倍散布、スタークル顆粒水溶剤 2000 倍散布

E区 (小なす)

2017年度: あさつき

2018/1/23、29 フロトキン (ANM-138)フロアブル 2000 倍散布

2017年度: チンゲンサイ

2017/12/27、2018/1/10 ホスチアゼント (ガードホープ) 液剤 3000 倍散布、1/9 モスピラン顆粒水溶剤 4000 倍散布

アフーム乳剤 2000 倍散布

2018年度: ビーマン

2018/5/27 アフーム乳剤 2000 倍散布、スピノエース顆粒水和剤 2500 倍散布

2018年度: なす

2018/8/3 (育苗期) アグリメック 1000 倍散布、ラノー乳剤 2000 倍散布、アカタッチ乳剤 2000 倍散布

8/15 (育苗期) アフーム乳剤 2000 倍散布、コサイド 3000 2000 倍散布、8/22 (育苗期) トリアミン乳剤 2000 倍散布

8/31 (育苗期) プレオフロアブル 1000 倍散布、9/13 フェニックス顆粒水和剤 2000 倍散布

10/3 コロマイ乳剤 1500 倍散布、トルネードフロアブル 2000 倍散布、モレスタン水和剤 2000 倍散布

10/15 コルト顆粒水和剤 4000 倍散布、10/24 アフーム乳剤 2000 倍散布、スタークル顆粒水溶剤 2000 倍散布

9. 被験物質以外に使用した農薬

2018/11/16 コルト顆粒水和剤 4000 倍散布、アフーム乳剤 2000 倍散布、スミックス水和剤 1000 倍散布

モレスタン水和剤 3000 倍散布